

# 中部産業遺産研究会 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第41回

～ 微生物がいろいろ仕事してます！「発酵食」の歴史と明日を探求する ～

## 『愛知独自の“発酵食文化”を支えるものづくり』



画像元 左：カクキュー(合資会社八丁味噌)、中左：(株)角谷文治郎商店、中右：伊東(株)、右：日東醸造(株)

2024年10月19日(土) 午後1時～午後6時 定員：250名  
参加費：無料  
申込方法は裏面参照

主催：中部産業遺産研究会、東海発酵文化研究会

共催：(公社)日本観光振興協会 中部支部、名城大学、中部圏インバウンドセールスプロジェクト (CISP)

後援：愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、産業遺産学会、日本産業技術史学会 (一社)日本機械学会、  
(一社)中部産業連盟、(公財)中部圏社会経済研究所、(一社)中部経済連合会、  
(公社)日本技術士会中部本部、名古屋工業大学ごきそ技術士会、  
(一社)愛知県観光協会、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー

協力：名城大学日本酒研究会 他

会場：名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス 南館 DS101 (DSホール)

〒461-8534 名古屋市東区矢田南 4-102-9



Google Maps

◎JR中央本線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅  
下車 徒歩約10分

◎地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」  
駅下車2番出口 徒歩約3分

◎ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」  
駅から徒歩約5分



☆会場：南館 DS101

# 中部産業遺産研究会 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第41回

～ 微生物がいい仕事してます！「発酵食」の歴史と明日を探求する ～

## 『愛知独自の“発酵食文化”を支えるものづくり』

地域の風土・歴史に根ざし、微生物の働きを借りてつくられる発酵食品・飲料・調味料。今回、中部産業遺産研究会では「食のものづくり」の中でも地域特性が際立つ「発酵」を取り上げて、産業遺産、技術史の観点から調査してきた成果の蓄積を発表する。

また、他日・他団体主催も含めた発酵グルメ会やツアーへの誘導を図り、発酵関係の事業者や観光・インバウンド関連団体とも連携した「発酵テーマの連続イベント開催」に協力する。

### プログラム

12：00 受付・開場

13：00 第1部：開会に続き代表者挨拶 中部産業遺産研究会 会長 浅野伸一

13：10 産業遺産研究会会員からの発表 『“発酵”をテーマとした産業遺産の研究』  
天野武弘 (中部産業遺産研究会 副会長)

13：40 基調講演 『日本食を支えてきた愛知の発酵文化の卓越性と多様性』  
加藤雅士さん (名城大学 農学部 教授、東海発酵文化研究会 代表理事)

休憩(15:00-15:10)

15：10 パネルディスカッション

『～愛知の発酵食文化の担い手達が語る！～ 発酵ものづくりの伝統と革新』

- ◎「日本酒 敷嶋」 伊東家 九代目、伊東(株) 代表取締役 伊東優さん
- ◎「八丁味噌」 カクキュー 企画室長 兼 品質管理部長 野村健治さん
- ◎「三河白だし」 日東醸造(株) 取締役 蜷川泰輔さん
- ◎「三州三河みりん」 (株)角谷文治郎商店 マネージャー 角谷文子さん

◎加藤雅士さん、◎天野武弘、◎ファシリテーター：赤崎真紀子

16：40 「発酵」テーマの連携イベント告知

休憩(16:50-17:00)

17：00 第2部：発酵食の「味比べ」：(予定) (八丁味噌2歳、白しょうゆ3歳)

17：50 閉会挨拶 (～18:00)

### 連携イベント：交流会 備考：100名までご参加いただけます。

18：00 - 20：00 キャンパス内レストラン「M PATIO」にて発酵食品をともに交流しましょう。  
「日本酒 敷嶋」もご用意予定。\*ご参加には、実費¥5,000で予定しております。

20：30 完全撤収

### 申込方法

中部産業遺産研究会HP：<https://csih.sakura.ne.jp/index.html> → シンポジウムのページ  
→ 「お申し込み」。または右のQRコードからオンラインで申込みできます。  
または、申込葉書を「〒470-0213 愛知県みよし市打越町九蔵釜93 加藤 真司 宛」に送ることも参加受付できます。



- ・申込葉書には、下記内容を記載(\*は必須事項)してください。
- ① \*氏名、② \*区分：一般・中部産業遺産研究会会員・東海発酵文化研究会・共催/後援団体関係者・学生、
- ③所属(学生の場合は学校名)、④ \*メールアドレスまたは電話番号、⑤ \*交流会参加希望：有・無、
- 交流会費5,000円を下記ゆうちょ銀行口座に予め振込ください。

【郵便振替】口座名義：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」、当座口座番号：00880-2-83831。

- なお「CPD行事参加票」が必要な方は「CPD要」と追記ください。
- ・申込に記載の個人情報は、当シンポジウムの運営及び緊急の連絡のみに使用します。
- ・申込代表者は、参加予定者全員の氏名をご記入ください。
- ・「CPD行事参加票」はCPD制度を実施している技術士会など会員で必要とされる方に配布します。